

【ワークショップ開催報告】

国際ワークショップ
「EUにおける労働者のフェア・モビリティ」

井川 志郎（山口大学経済学部准教授）

（2019年8月29日 於専修大学神田校舎）

去る2019年8月29日、専修大学・法学研究所のご協力のもと、同大学神田校舎7号館において、「EUにおける労働者のフェア・モビリティ～新たな平等原理の模索～」（Fair Mobility of Workers as a Principle of Equality in EU）と題するワークショップを開催することができた。ここに開催概要を報告するとともに、ご支援に深謝したい。



ワークショップ会場

【趣旨】

現在、世界各国で移民政策が問い直されている。わが国では、外国人労働政策の転換ともいえる、新たな在留資格「特定技能」が創設されたところである。他方、諸外国に目を向ければ、従来移民に寛容とみられてきた国で排他的な動きが発生している。

そして欧州連合（EU）では、域内移民に対する不満が‘Brexit’騒動の一因だといわれている。

このうちEUでは、域内では労働者の自由移動（free movement of workers/Freizügigkeit der Arbeitnehmer）を保障し、域内移民を奨励してきた。また、企業のサービス提供の自由（free movement of services/Dienstleistungsfreiheit）の一環として労働力移動が活発に行われてきた（その典型例が、いわゆる越境的労働者配置（posting of workers/Arbeitnehmerentsendung））。これは、当初のコンセプトとしては、私的自治および私的イニシアティブに国境を開放し、比較優位という考えに則り国境を越えた競争を促進することを目的としていた。生産要素たる労働力の移動の促進も、適材適所をもたらし、域内の経済的発展、ひいては域内諸市民の生活水準の向上をもたらすべきものであった。

ところが現実にかかる自由移動がもたらした結果については、しばしば、「ソーシャル・ダンピング」との批判がつきまとった。労働力移動に関していえば、適材適所といえば聞こえは良いが、実態は低廉労働力の利用に過ぎない場合が散見されたからである。かかる実態ゆえ、EUが「規制間競争」や「底辺への競争」を引き起こしているとの批判が高まれば、EUの正当性そのものが問われることとなりかねない。

本ワークショップは、EUがその当初からの重要目的である市場統合を維持しつつ、上記のような「ソーシャル・ダンピング」を阻止・是正するために、どのような取り組みを行っているのか、その最新の動向を確認し、その意義を検討するものである。この点での我々の仮説は、現代に求められているのは、国際的経済活動の自由と社会的基準のいずれを優先するかという二者択一的発想ではなくて、労働者が公正な労働条件を享受しつつ移動の自由を保障されること、すなわちフェア・モビリティという新たな平等原理ではないか、ということである。

かかる検討は、現在および将来のわが国の外国人労働政策、さらには市場統合政策にとって、有益な基本的視点を提供し得るものと思われる。

【内容】

1. 井川志郎（山口大学、司会兼通訳）「本ワークショップの趣旨」
2. ラインガルト・ツィマー教授（ベルリン経済・法科大学）

Prof. Dr. Reingard Zimmer (Berlin School of Economics and Law)

「越境的配置労働者指令96/71/ECの改正とその国内法への影響」

„Die Revision der Arbeitnehmerentsenderichtlinie und ihre Auswirkungen auf das nationale Recht“

3. ナディーン・アプゼンガー氏（ドイツ労働総同盟連邦本部，法務部長）

Dr. Nadine Absenger (DGB-Bundesvorstand, Leiterin der Abteilung Recht)

「欧州労働局設立の計画～越境的労働者配置の分野での任務も～」

„Die geplante Europäische Arbeitsbehörde — eine Behörde auch mit Aufgaben im Bereich der Entsendung“

4. 質疑応答

【成果】

当日は、参加者15名という小規模ながら、逆に活発な議論を交わすことができた。例えば、欧州労働局設立の動きに対してフロアから、労働組合が果たすべき役割もあるのではないかという趣旨の、議論喚起的な質問が投げかけられていた。今回の講演原稿については、その翻訳を進めており、2020年中の公刊を予定している。